

## 4 小学校編

### (1) 各教科の結果・分析の概要

#### 【国語】

話し手が伝えようとしている内容を正しく聞く力、登場人物の気持ちを想像しながら読む力、筆者が説明している内容について正しく読む力、漢字を正しく読む力や接続語・指示語に関する正しい理解などが身に付いている。

文章の構成を考えながら読む力や、文章の表現の特徴や書き方の工夫に目を向けて読む力、目的や様式に応じて書く必要のある事柄を選ぶ力、文章や資料、グラフや図表等を読んで考えたことを、根拠や理由を明らかにして決められた字数で書く力などは、今後一層高めていく必要がある。

#### 【社会】

基本的な事項、用語、社会的事象の意味などはおおむね理解できている。また、絵資料から事実を見付けたり、グラフから正しく数値を読み取ったりするなど、基本的な資料を読み取る力はおおむね身に付いている。

複数の事象を比較・関連付けて資料を読み取り、自分の考えを記述する力や人物や歴史上のできごとについて、時代の流れを考えたり地図に表したりするなど、学んだことを活用する力を一層高めていく必要がある。また、近現代史の学習を確実に実施する必要がある。

#### 【算数】

小数や分数の加減乗除などの計算技能が身に付いており、基本的な平面図形の面積の求め方や立体の体積の求め方、図形の性質などについてもよく理解されている。また、昨年度まで課題であった、身近にある形についてその概形をとらえていく力については改善されてきている。四則に関して、計算のきまりをもとにして工夫した計算の仕方を考える力、既習の図形に帰着して工夫して面積の求め方を考える力、展開図を組み立ててできる立体の名称の理解、二つの数量の変化の仕方考える力などは、今後一層高めていく必要がある。

#### 【理科】

受粉の仕方やメダカの卵及び胎児の様子の変化など基本的な内容はよく理解されている。また、気体検知管の正しい目盛りの読み方などの観察・実験の技能、観察、実験の結果から葉に光が当たるとでんぷんができることを考えるなどの科学的な思考力は、おおむね身に付いている。てこについて加える力の大きさに関する規則性の理解や、条件を制御して観察、実験を行う力、観察、実験の結果から唾液の働きなど目に見えない事象について考察し、適切に表現する力を今後一層高めていく必要がある。